

本気で資産をつくる！中国株・ADR株
～素人だからこそ儲かる投資法を極めよう～

5月9日（金） 配信

この株で儲ける号

■中国・個別株投資情報

☆売買天気予報

☆短期売買シミュレーション

☆大化け期待！ 長期成長 PF を作ろう

☆今週の短期動意銘柄

■現地ホット情報

■教えて巫州さん

■重要ニュース

■中長期保有ポートフォリオ （当メルマガ主力コンテンツ）

■ADR 中長期ポートフォリオ

■マーケットカレンダー

=====
==

■中国・個別株投資情報

☆売買天気予報・・・相場の状況などを五段階で示します。

※あくまでも短期的な（数週間内）相場の動きを予想しております。
長期保有を心がけておられる方は無視して下さい。

・相場の強さ
・買い度 ◎
・売り度

<一言相場解説>

4月の輸出入額が予想値を超える健闘を見せたように（後掲記事「現地ホット情報—中国：4月の貿易は予想外のプラス、景気下押し圧力緩和へ」参照）、世界的にはゆっくりとはあるが景気回復の傾向が見てとれる。

しかし中国という国だけに目を移せば、足元の不動産市況が急速に悪化しているというネガティブな現状がある。

全体相場に関しては、指数構成銘柄に採用されるような大型株がすでにかなり売り込まれていたこともあり（銀行株で配当利回り7%の水準）、さらに一段安という展開にはなっていないが、そんな中で「利益が乗った銘柄」だけが大きく売り込まれている。

こういう現象は過去何度も経験したことではあるが、「利益が乗った銘柄」の利益がほぼなくなるまで売られた後、相場全体が反発していく流れ、そして、もう一つは「利益が乗った銘柄」の利益確定が終わった後に相場全体がもう一段下げる展開――。現時点では雰囲気的に後者の可能性を少し強く感じる。

すでに買いを入れたい株価まで下がっているような銘柄もあるが、全体として今はまだ大きく買い進むような時期ではないと考える。

香港市場に関しては5、6、7月に株価が大きく騰がるケースは稀で、殆どの場合この辺で大きく下げるのがアノマリー（過去の経験則）となっている。

あくまでも下げた所を分散して、少しずつ買い集めるような感じが良いと思う。

ただ、このような低迷期に将来有望だと思える銘柄を少しずつでも買い増していくことが数年後の大きな利益に繋がっていく。

株が下がっている時は疑心暗鬼になるが、自分を信じて行動を起こすことが大切だ。

<H 株指数チャート>

<http://www.ashuir.com/merumagashozai/katekin/140509.jpg>

（編集部 カテキン）

☆短期売買シミュレーション

5/8 寄り付き後 四環医薬（0460/HK）を売却。

◇売却株価 8.40HKD

◇売却理由

損切り株価には全く達していないが一旦現金化。

足元、中国の不動産市況が急速に冷え込んでいる状況。

「不動産バブル崩壊」のようなネガティブニュースが出て相場全体が急落する可能性もあり、そのようなチャンスが来る時までキャッシュで待ちたい。

◇損益 7369HKD の損失

現在の投資金額 0HKD

待機キャッシュ 400000HKD

現資産総額 618996HKD

現時点での利益 218996HKD

スタート時資産 400000HKD

(2012年9/1)

☆大化け期待！ 長期成長 PF を作ろう。

「習近平の10年間で10倍を期待する株」

本コーナーは今後10年で大きな成長が見込める企業をどんどん取り上げていきます。

(メインPFと重複する銘柄もごぞいます。)

ご自身で十分調査された上で自分なりの10倍ポートフォリオを作りあげて下さい。

(期待度 ☆◎○▲△の順)

- ◎0950 李氏大薬廠 ・ ・ 心臓疾患、感染症、皮膚病など医薬品
- ◎2188 泰坦能源 ・ ・ 電気自動車用充電設備など
- ◎1043 光宇国際 ・ ・ リチウムバッテリーメーカー
- 1668 華南城 ・ ・ オンライン物流 テンセントと資本提携
- ◎1390 環亜智富 ・ ・ オンライン決済

～ 中略 ～

- ◎1363 中滔環保集団 ・ ・ 汚水処理

- ◎6863 中国輝山乳業 ・ ・ 乳製品
- 0484 雲遊控股 ・ ・ ソフト開発
- ◎1296 国電科技環保 ・ ・ 風力発電 脱硫装置など

～ 中略 ～

- △1900 中国智能交通 ・ ・ 交通インフラソリューションサービス
- △1149 中国安芯 ・ ・ 鉱業や工業用セキュリティーシステム
- 8095 北京北大青島 ・ ・ ワイヤレス火災警報システム (WFAS)
- △1065 天津創業環保 ・ ・ 汚水処理場及び浄水場の建設運営
- 0371 北控水務 ・ ・ 上下水道事業、下水処理
- ◎0871 翔宇疏浚環保 ・ ・ 浚渫 (しゅんせつ) 工事、環保浚渫
- ▲0723 信利国際 ・ ・ スマホやタブレット LCD ディスプレイ製造

<編集部 カテキン>

☆今週の短期動意銘柄

「短期動意銘柄」の留意点

あくまで短期的な値動きに魅力を感じる銘柄をピックアップしています。利益確定や損切りのルールを守った上で短期的に売買し、確実に利益をあげることを目的とします。

又、ここで挙げる銘柄を「監視銘柄」として継続して追いかけることも重要です。気になった銘柄をピックアップし保存しておき、株価、ニュース、業績などをチェックしていきましょう。それが長期保有銘柄選択の参考になると思います。

今週の飛びつきりちゃんは 2005 利君国際です。

輸液製剤というマイナーな製品を扱っている会社ですが、特殊な分野というのは理解でき、その中で着実に増収増益を重ねております。またチャートも綺麗に長期上昇トレンドにあります。

そしてもう一つ中国黄金国際資源も密かに注目しています。

チャートの底値圏で推移しており、米国の金融緩和が長引くことになると短期的

な急反発も期待できると思います。

☆今週の短期動意銘柄

▼2005 利君国際医薬

◎ここに注目！・・・独自薬剤で増収増益

傘下の輸液製剤メーカー「石家荘四薬」（1948年創業）と抗生物質メーカー「西安利君製薬」（1938年創業）を通じ、輸液製剤、注射液、抗生物質、原料薬、一般医薬品などを研究開発、製造、販売。2013年業績は+13%増収、+47%増益。主力の輸液製剤が特に好調で市場シェア7%。販売量は+23%増加、中でも透析用や治療用輸液製剤に使用される非PVCソフトバッグタイプが+48%増と大きく伸長。500ml入り化合物電解液ソフトバッグと、250ml入りアンプロキシソールブドウ糖ソフトバッグの独占生産が批准されたことも強み。

◇買い入れポイント 3.0HKD

◇売り目標ポイント 3.8HKD

◇損切りポイント 2.7HKD

（推奨時株価 3.11HKD）

【チャート】 <http://goo.gl/uycNmt>

▼0270 粵海投資

◎ここに注目！・・・香港市民の水を一手に引き受ける

広東省を中心に水利事業、インフラ・エネルギー関連事業、百貨店・ホテル経営、不動産投資等を展開。広東省東江流域を水源とする香港向け給水の95%の権益を持つなど、水利事業が売上の62%を占める（2013年実績ベース）。その他、不動産関連が14%、百貨店事業10%、ホテル事業8%、発電事業6%。水利事業は現在4つのプロジェクトを保有し、うち香港への供水を含む「東深供水」が最重要。香港への供水協定価格見直し（香港でも約20年ぶりに水道料金引き上げの方向）が同社の収入増に貢献。

◇買い入れポイント 8.3HKD

◇売り目標ポイント 10.3HKD

◇損切りポイント 7.5HKD

(推奨時株価 8.72HKD)

【チャート】 <http://goo.gl/Hehky>

▼0669 創科実業

◎ここに注目！・・・欧米経済回復・拡大の波に乗る

電動工具やフロア清掃機（クリーナー）の販売。1985年創業、1990年香港上場。北米、中米、欧州、アジアに生産拠点、その他中東や南米、アフリカ他に販売拠点。世界的有名メーカー品を取り扱い、電動工具の Milwaukee や RYOBI、AEG 等。フロア清掃機の HOOVER や VAX 等。電動工具が売上の 73% を占め、フロア清掃機は 27%。ホーム

デポが最大ユーザー。2013年業績は+12%増収、+25%増益と好調。売上の 73% が北米、20% が欧州。北米市場販売高は+11%の伸びで、特に RYOBI ブランドが好調。他、欧州市場も+13%伸長。欧米経済回復・拡大の恩恵を最大限受ける。

◇買い入れポイント 23.7HKD

◇売り目標ポイント 28.5HKD

◇損切りポイント 21.3HKD

(推奨時株価 24.2HKD)

【チャート】 <http://goo.gl/v75vG>

▼2099 中国黄金国際資源

◎ここに注目！・・・安心の中央政府系企業且つ優れた経営手法で注目の金鉱会社

金や銅など有色金属の探査、開発及び生産。親会社は中央政府系の中国黄金集团公司。カナダ・バンクーバーを本拠とする同社（中国黄金国際）は唯一の海外旗艦子会社で、香港並びにカナダ・トロント市場に上場。現在、内モンゴル自治区の長山壕金鉱山とチベット自治区の甲瑪銅多金属鉱山の 2 つを保有。優れたコスト管理など同社の経営手法には定評あり。昨今の金価格急落で業績に大きな打撃を受ける金鉱

会社が多い中、同社の2013年業績は△9%減収、△22%減益と同業他社との比較でマイナス影響が軽微。13年の金生産コストは前年比で7%低下、同じく銅生産コストは11%低下。今年度もコスト低減を加速させ、苦境を乗り切る構え。

◇買い入れポイント 19.5HKD

◇売り目標ポイント 22.5HKD

◇損切りポイント 18.6HKD

(推奨時株価 19.72HKD)

【チャート】 <http://goo.gl/vVSNRt>

▼1052 越秀交通基建

◎ここに注目！・・・広東省でのトラック通行料制度改変が追い風

広東省のパールデルタを中心に、13の高速道路を始め、橋梁や港湾を運営。2013年業績は+18%増収、+30%増益と好調。広東省でのトラック輸送増により、虎門大橋や広州北第二環状高速の通行料収入が各々+16%増、+12%増と収益に貢献。また近年参入した河南省や湖北省、湖南省等の高速道路事業も収益期に突入。さらに広東省政府が打ち出している、トラック重量別通行料制度が今年7月にも実施される見込みで、同社にとって広州近郊の3路線が対象。同様制度が導入された場合、収入が30～40%増加することが過去事例から実証されており、同社の下半期収入増に期待高まる。

◇買い入れポイント 3.9HKD

◇売り目標ポイント 4.7HKD

◇損切りポイント 3.5HKD

(推奨時株価 4.17HKD)

【チャート】 <http://goo.gl/f7jvMA>

▼1349 上海復旦張江生物医薬

◎ここに注目！・・・名門大学出身者が創業、現在もその大学が大株主

1996年設立の医薬品メーカー。遺伝子工学、光線力学薬、ナノ医薬品など最先端医

薬品の研究開発に注力。主要株主は上海実業（0363）、上海医薬（2607）、復旦大学など。2013年業績は+79%増収、+64%増益と好調。2013年末現在開発中の医薬品は、脳卒中・心筋梗塞・抗ガン剤・関節炎・骨粗鬆症・高コレステロール血症など。同社は現時点で61項目の特許を申請、うち34項目の特許保有。原料薬や注射剤の新薬生産に向け、傘下の泰州薬業に二つの生産ラインを新設。

◇買い入れポイント 6.50HKD

◇売り目標ポイント 8.10HKD

◇損切りポイント 5.87HKD

（推奨時株価 6.62HKD）

【チャート】 <http://goo.gl/u6ndA4>

■現地ホット情報

◆中国：4月の貿易は予想外のプラス、景気下押し圧力緩和へ

中国税関総署が8日発表した4月の貿易統計は、輸出入が予想外のプラスを達成するという結果だった。貿易の持ち直しが示され、景気下押し圧力の緩和につながると期待されている。

今年4月の輸出は前年同月比0.9%増。過去2カ月のマイナスからプラスに転じ、市場予想（3%前後の減少）を上回った。輸入も0.8%増加するなど、市場予想（2%前後の減少）よりも良い結果だ。

<欧米景気回復や元安が追い風>

昨年4月は、輸出を装って香港を窓口投機資金を持ち込む「偽装輸出」で輸出がかさ上げされ、比較対象となる基数が高かったにもかかわらず、今年4月は市場予想に反してプラスとなった。こうした貿易の持ち直しの背景には、欧米の景気回復や、人民元の対米ドルレート下落がある。実際、4月の欧州連合（EU）向けと米国向けの輸出はそれぞれ15.1%増、12.0%増。欧米地域の需要持ち直しが浮き彫りにされた格好だ。

<新興市場向け輸出は苦戦、対香港は大幅減>

一方、新興市場向け輸出は、輸出先の通貨下落や需要の鈍化を背景に伸び悩んだ。ASEAN向け輸出が3.8%増にとどまったほか、南アフリカとブラジル向け輸出はそれぞれ14.9%、3.8%の減少を強いられている。

さらに、香港向けの輸出は大幅に減少。昨年1～4月は、大量の資金が香港を通じて偽装輸出の形式で中国本土に流入したことで、数字上の輸出が押し上げられたためだ。昨年の基数が極めて高かったことから（昨年4月は57.2%増）、今年4月の輸出は31%減と大幅な落ち込みを示した。

仮に対香港輸出のマイナス影響を控除した場合、4月の全体の輸出は9.4%増える。また、昨年5月以降は偽装輸出が抑制され、比較対象となる数値も正常に戻るため、今年5月以降は輸出の好転が期待されている。商務部の瀋丹陽・報道官も、「5月から輸出データが良くなり、第2四半期の貿易情勢は第1四半期に比べて好転する」と予想した。

<輸出の持ち直しで人民元は上昇>

4月の輸出持ち直しを受け、人民元の下落基調に一服感が出るとの見方が出ている。中国人民銀行（中央銀行）が8日設定した中間値は、1米ドル=6.1557人民元と前日に比べて元安水準に設定されたが、店頭取引では（朝方こそ6.2365人民元だったが）貿易統計発表後は一時6.2304人民元まで上昇した。

年初から下落が続いていた人民元。特に、第1四半期の輸出は、昨年の比較対象となる基数が高かったこともあり、弱い数字が示され、人民元安の要因にもなっていた。しかし、輸出が今後回復すれば、人民元の下落基調に歯止めが掛かるとの見方が少なくない。

☆教えて亜州さん

（香港市場のルールや個別株情報などについてどんどんご質問下さい）

Q： 4月からメルマガを購読し、中国株の魅力にわくわくしながら勉強しております。

ところで質問ですが、中国株は分割株式に対しても、現金配当と同様に課税されると聞いたことがあります。そうだとすると、分割銘柄への投資は、その分不利になってしまわないでしょうか。

（Sさん。いろいろ知りたいビギナー業）

A： 分割株式に対する課税のご質問ですが、まず、「株式分割」の意味・定義をし

っかり把握しておく必要があります。

中国株マーケットでは、(新規の買い付けを行わない状態で) 保有株数が増加するパターンが大きく3つに分かれます。

1. 単純な株式分割

株式を細分化し、単純に株数を増やす場合。会社側の資産に何ら変化がない。売買単位を小さくする場合などに用いる。テンセントが先ごろ発表した分割計画がこれにあたる。

2. 無償増資

バランスシート「資本の部」にある「利益剰余金」の一部を取り崩し、これを株式に変えて既存株主に交付する。非課税。

3. 株式配当

「当期純利益」の一部を株式に変えて既存株主に交付する。
現金配当と同様に配当課税が発生する。

以上3パターンをご紹介しましたが、3.の株式配当では、確かに税金がかかります。

ただし、最近の事例をみれば、株式配当を行う場合は同時に現金配当を行うので、株式配当の税額は現金配当から差し引かれる形。

新たに投資家が現金を差し入れるケースはほとんど発生しません。

ご質問の「その分不利になる」というのが、新たに現金を支払う心配を指すのであれば、特に不利になる話ではないと思います。

質問はこちらから question@ashuir.com

☆重要ニュース

■不動産開発企業の資金繰りが急速悪化、投機マネーも撤退

中国の不動産開発企業の資金繰り環境が急速に悪化している。住宅取引が顕著に低迷する中で、各社は値下げ戦略に転向。物件を売って利益を得るという従来の構図

が崩れつつある。さらに米国の量的緩和策縮小による影響や、人民元安による投機マネーの中国離れで、海外市場での資金調達もままならない状況。2014年は不動産開発企業の資金繰りが最も厳しい1年になる——との悲観論も散見されるという。新聞晨报が8日付で伝えた。

主要100都市の4月・新築住宅価格は、1平方メートル当たり平均1万1013人民元（約17万9900円）。前月比で上昇した都市は55都市にとどまり、3月に比べて8都市減った。下落した都市は45都市。上昇都市をなお下回ったものの、下落幅1%超は16都市と、上昇幅が1%を超えた11都市より多かった。中国の今年の新築住宅販売についてモルガンスタンレーは、前年比で5%減少すると予想。住宅建設投資の伸びは13%に鈍化するとの見通しを報告している。

不動産企業の海外資金調達も低迷中。大手10社の今年4月の同調達額は118億100万人民元と、前月比で24.7%減を記録。2カ月連続の落ち込みとなった。さらに、中国不動産を投資対象とした海外で販売されるファンド商品についても、募集資金が集まっていない。中国の嘉実基金管理（ハーベスト・ファンドマネジメント）と英グローバル・ファンドマネジメントの両資産運用会社は、中国の不動産部門に特化したファンドの発売計画を白紙撤回したという。嘉実基金のファンドは当初、5億米ドルを募集する予定だった。

中国で不動産引き締めが導入された2011年下半期以降、不動産デベロッパーにとって海外市場は最重要の資金調達源と化していた。しかし、資金が集まらなくなる中で、国内で新たな資金調達先を見つける動きが一部の企業の間で見られ始めている。

不動産仲介大手、中原地产の張大偉チーフアナリストによれば、海外での資金調達が難しくなった理由は2つあるという。1つは米国が量的緩和策の縮小を進める中で、海外での資金調達コストが上昇したこと、もう1つは人民元安が投機マネーの中国流出を促していること。元高期待で中国に大量流入していたこれら投機マネーは、これまで主に不動産に向かっていた。

■4月の輸出入額は0.8%増、市場予想を上回る

中国海関総署（税関）は8日、今年4月の輸出入総額が前年同期比0.8%増の3586億3000万米ドルとなったを発表した。輸出輸入ともに事前予想を上回っている。内訳は、輸出が0.9%増の1885億4000万米ドル（市場予想3.0%減）、輸入が0.8%増の1700億9000万米ドル（同2.1%減）。貿易黒字は1.8%増の184億5000万米ドルに拡大した。

1～4月の輸出入総額は、0.5%減の1兆3243億2000万米ドルに低迷した。輸出は2.3%減の6797億8000万米ドル、輸入は1.4%増の6445億4000万米ドル。貿易黒字は41.4%減の352億4000万米ドルに縮小した。

■弊社が自信をもってお薦めする

☆中長期投資銘柄ポートフォリオ☆

短期的な株価の動きではなく、長期的に成長し続ける可能性が高い企業を選別しております。◎一定以上の時価総額があること、◎着実に配当を実施していること、◎コーポレートガバナンスに絡む問題を過去に起こしていないこと——などを基準に選択。「とにかく安心して長期間保有したい」という方に、自信を持ってお薦めできるポートフォリオを目指していきます。

◇中長期投資銘柄ポートフォリオの買いポイント

いくら中長期投資といえども、高値圏で株を買ってしまえば、長く保有することは難しくなります。そこで今相場の高低から見て今が買い時であるかどうかについて「買い時度」を記しておきます。また個別銘柄に暴落や暴騰があった際の売り買い判断につきましては下のPF内で言及していきます。

買い時度（A～Eの5段階評価）※Aが一番の買い時。

◇現在評価 C

銘柄によっては「買い」か「様子見」か、分けて考えたい。

あまり下げしていない銘柄であれば、じっくり買い場を見つけないところ。

たださえセルインメイと呼ばれる5、6月、同時期に理財商品の償還日が集中することもありまだまだ一悶着ある可能性が残されているからだ。

◆◇◆安定型=中長期保有銘柄◆◇◆

1 合生元国際（1112）

【最新ニュース】

NEW! : 4/24 ジェフリーズが「買い」に格上げ、目標株価は 60.00 香港ドル

NEW! : 4/23 中国：出産規制緩和によるベビーブーム再来は期待過剰＝米紙

4/10 合生元の粉ミルク製品、薬局販売は各店月額 2 万～3 万元

4/1 粉ミルクの合生元、13 年業績は急ピッチに成長し 3 割増益

【チャート】 <http://goo.gl/5obkn>

【投資判断】 この調整期に買い入れを

年初の 70HKD から 30%を超える下落。

40HKD～50HKD 辺りが現時点でのこの銘柄の妥当な株価であり、年初の株価が「一人っ子政策恩恵バブル」であったと言える。

高値感さえなくなれば、安定した利益成長が期待できる銘柄だけに投資チャンスとなる。

～ 中略 ～

4 昆侖能源 (0135)

ペトロチャイナ傘下。原油や天然ガスの採掘から生産、輸送、小売まで垂直統合で事業展開。LNG 液化天然ガスは輸送からガススタンド経営まで手掛ける。同社の主力事業。都市ガス事業は 9 省 25 都市で展開（昨年末時点）。ハンセン指数構成銘柄への採用（12 月 10 日）と親会社からの資産注入期待で株価が高騰。

【最新ニュース】

NEW! : 5/8 HSBC が目標株価を下方修正、12.90 香港ドルに

4/25 中国：シェールガス開発、探査・開発コスト高が民間参入の壁に

4/22 重慶でシェールガス探査進展、中石化・華油・昆侖株がそろって値上がり

4/9 BNP パリバが目標株価を下方修正、12.08 香港ドルに

4/8 シティが目標株価を下方修正、9.4 香港ドルに

【チャート】 <http://goo.gl/mz03f>

【投資判断】株価的には低迷も保有継続

都市化が進むことで天然ガスの使用量も安定して伸びていく。
完全に長期的投資を目的とした銘柄。

2013 年通期決算を発表

数値的には予想値以下となったが、親会社の汚職問題が一部の事業に影響を与えた可能性もあるので、この決算はそれほど悲観するものではない。特に売り上げが 31.8%増えていることに注目。天然ガスの普及が加速していることが見て取れる。安値を買い増しつつじっくり育てたい銘柄。

売上げ 434 億 3000 万 HKD (前年比 31.8%増)
純利益 68 億 5100 万 HKD (同 5.1%増)
EPS 0.85HKD (同 0.835HK ドル)
期末配当 1 株当たり 0.23HKD (同 0.23HKD)

親会社の政治的不安から株価が低迷している時がチャンス。
深刻な環境悪化により、中国はようやく本格的に「脱石炭」を進めることになる。
その中で天然ガスセクターは長期的に政策による恩恵が大きいと判断。

◆◇◆成長型=中長期保有銘柄◆◇◆

1 テンセント (0700)

インターネット大手。「QQ」のロゴで知られ、総合ネット企業として地位を固める。
オンラインゲームなどネット付加価値サービス (IVAS)、携帯コンテンツ配信のモバイル付加価値サービス (MVAS)、ネット広告が 3 本柱。

12 年からは新たに E コマース事業部門が加わった。ポータル・サイトの「QQ.com」は、アクセス数で国内トップを維持している (看板商品の IM「騰訊 QQ」は 12 年 6 末時点のアクティブユーザー数が 7 億 8000 万人を超えた)。

【最新ニュース】

NEW! : 5/7 テンセントが地図製作会社の 2 位株主に、出資額 191.5 億万円

5/2 野村が投資判断「買い」、目標株価 787 香港ドル継続

4/24 テンセント、韓国芸能プロに資本参加か

4/23 テンセントが起債、24.88 億米ドルを調達

4/11 テンセントが起債、最大 50 億米ドルを調達へ

3/20 ネット大手の通期は 2 割増益、市場予想を下回る (メルマガ「招财」)

【チャート】 <http://goo.gl/HXv4Q>

【投資判断】 株価調整は買いの好機

世界的に高値を維持してきたネット株が意識的に売り叩かれる展開の中で、同社株価も調整を強いられているがこれは明らかに「買われ過ぎ」の反動によるもの。高値感が薄れ新規参入しやすくなったが、チャートの的には 400HKD 前半辺りまで下げても何一つおかしくない。2013 年実績 PER45 倍以下で分散して買い入れたいところ。テンセントの株価は長期的には何十倍になったが数年単位で見ると大きく騰がり調整、大きく騰がり調整の繰り返しであった。

2013 年通期決算を発表

1 株を 5 株に分割する株式分割計画を発表。

全体的に期待通りの好決算となった。

ユーザー数が 3 億 5500 万人と急伸している『微信』が今後の収益源となる。

ただ、『微信』の本格的収益化はまだまだ先の話。

それゆえに先の業績に期待がかかる。

中国が新しく認める「民間銀行」へ進出の意思を示す。

カード事業で中信銀行と提携。

BtoC の京東商城に出資、生活情報サイト「大衆点評」に出資、国金証券と共にネット証券取引サービスを開始。

韓国「カカオトーク」への追加出資でテンセントの世界戦略が明確化。

微信を通じた理財商品の販売や資産運用サービスなどを開始予定。

IGG (8002) 開発のモバイルゲーム城堡争覇 (Castle Clash) の中国本土独占代理権を取得。

微信の「公衆平台」(オープン・プラットホーム) アカウント認証代金の徴収開始。

審査の強化と経費負担の軽減に繋がるとした。

国内ブランド価値ランキングで 5→3 位にランクアップ。

「微信」の成功で企業価値が 68%上昇。

国産スマホメーカー「小米」と携帯販売で提携、また国金証券と提携し理財商品のネット販売を開始する予定。

2 海爾電器 (1169)

中国の家電大手ハイアール・グループの傘下企業。

特に冷蔵庫や洗濯機などいわゆる白物家電に強みがあり、香港に上場する海爾（ハイアール）電器（1169）はその中でも洗濯機事業と温水器事業を主に担当。昨年度の洗濯機と温水器の国内シェア（販売台数）は共に第一位。それぞれ約 27%、約 20%を占めた。また、洗濯機に関しては世界トップシェア（およそ 11%）となっている。グループ内の再編が行われた結果、海爾（ハイアール）電器（1169）は青島海爾（600690）の子会社となり資産注入を受けた家電流通事業が急成長を遂げている。自社製造の洗濯機以外にも、グループ企業から調達したテレビ・冷蔵庫・エアコンなどを「日日順」というブランド名で販売。

【最新ニュース】

NEW! : 4/29 DBS が目標株価を下方修正、25.67 香港ドルに

4/28 ハイアール電器、第 1 四半期は 18%増益

4/24 ハイアール電器、E コマース活用で販売増に期待

4/10 UBS が新規カバレッジで「買い」、目標株価は 25.00 香港ドル

4/2 ハイアール電器、非公開 A 株発行申請が許可される

【チャート】 <http://goo.gl/osVbQ>

【投資判断】 足元売られる

アリババとの提携や E コマース部門の伸びを期待されて高騰してきた株価が世界的なネット系銘柄への評価引き下げの流れを受けて調整を強いられる。

ただし現株価はすでに実績 PER17 倍と割高感も薄れたこともあり、調整はそれほど深くはならないと見る。

2014年1Q業績を発表。

13%増収、17.7%増益とサプライズはなかったが手堅い成長を見せた。

株価が上がっていないのは昨年夏からの急騰（半年で2倍）に対する反動。

半期業績に向けてインターネット家電販売の収益がさらに見込めるようになれば、
株価の踊り場を脱出できると思う。

2013年通期業績決算を発表。

ほぼ市場予想通り。

売上げ 622億6300万人民元（前年比12.0%増）

純利益 20億3700万人民元（同20.2%増）

EPS 0.8015人民元[約1HKD]（0.7073人民元）

期末配当 0.10HKD（0.08HKD）

特に注目したいのは、利益が42.8%増の10億5000人民元となった家電の総合販売事業（他社製品も扱う）の伸び。この利益は売り上げトップである洗濯機部門の利益と肩を並べるまでになった。将来的には、このネット通販部門を含む総合家電販売部門が主力収益源となろう。

アリババと物流部門で提携。

今後はBtoC市場での家電販売増に期待。

廉価版4G端末（スマホ）の生産に注力。

この分野が大きく伸びる可能性がある。

米大株主の株大量売却で一時的に株価が下がったが問題なし。

急騰の反動でしばらく株価が揉み合う展開。

しばらく停滞した後、また順調に上がりだすと予想する。

政府が「エコ家電普及運動」を推進。

エコ家電の認定条件引き上げはレベルの低い家電企業の淘汰に繋がり、当該企業には有利。

12月9日、電子商取引界の巨人アリババと資本参加を含む提携を発表、株価が急騰した。

今後はアリババグループと協力して中国全土に配送網を確立する。

その配送網を利用して自社製品のみならずアリババの電子商取引サイトで発注された商品の配送などでも協力する。単なる家電企業から完全に脱却したと言えよう。

～ 中略 ～

7 光大国際 (0257)

中国政府系の環境インフラ投資会社。環境保護・エネルギー（ゴミ発電施設の建設・運営など）と汚水処理を主力とし、両部門の売り上げが全体の9割を占める。

【最新ニュース】

NEW! : 5/9 光大国際の浙江ゴミ発電プロジェクト、商業運転を開始

4/30 光大国際が南京でゴミ発電プロジェクト、投資額4億元

4/30 JP モルガンが「オーバーウエート」継続、
目標株価を8.3→13.0香港ドルに引き上げ

4/23 土壌汚染回復で中国光大国際に脚光＝クレディ・スイス

【チャート】 <http://goo.gl/ZqSbh>

【投資判断】 株価停滞も急騰後の踊り場

現在は環境や都市化など政策関連銘柄に投資家の注目が集まっていない展開。

以前のように期待感だけで株価が騰がる相場は終了。

今後の株価は業績次第となる。

南京市政府とごみ処理発電プロジェクトでの契約締結を発表。投資総額は4億人民元。

JP モルガンが目標株価を8.3HD から57%引き上げ13HKD した。

3/31 南京市地方政府との間でごみ処理発電プロジェクトに関する受注契約を締結、

また4/1に江蘇省地方政府との間でバイオマス燃料の製造プラント建設などの受注契約を締結。するなど新規受注も順調。

2013年通期決算を発表

市場予想とほぼ合致した。

これを受けて大手証券会社のほぼ全てが目標株価を引き上げた。

<2013 年通期業績>

売上げ 53 億 2000 万 HKD (前年比 56.0%増)

純利益 13 億 2500 万 HKD (17.9%増)

EPS 0.326HKD (同 0.2965HKD)

期末配当 0.05HKD (同 0.03HKD)

8 北京同仁堂科技 (1666)

北京市政府系中医薬 (漢方薬) チェーン大手。

「同仁堂」は 17 世紀から続く老舗ブランドとして知られる。

風邪薬、滋養強壯剤、鎮痛解熱剤などが主力。

中医薬 (漢方薬) では中国トップシェアを誇る。

【最新ニュース】

NEW! : 5/9 中国：一部医薬品の価格上限撤廃、生産意欲高めて供給確保

4/30 北京同仁堂科技発展の薬品カプセルに品質問題

4/29 北京同仁堂科技の純利益、第 1 四半期は 1.45 億元

4/17 中国：後発薬の普及を促進、外資先発薬の独占打破へ

【チャート】 <http://goo.gl/IP9o6e>

【投資判断】 順調

2014 年 1Q 業績を発表。

サプライズはないが堅実な成長を見せた。

売上げ 11 億 4400 万人民元 (前年同期 10 億 2200 万人民元)

純利益 1 億 4500 万人民元 (前年同期 1 億 2600 万人民元)

2012 年から急騰してきた分、株価の揉み合いが続くが、長期的には安定した業績の伸びを示してくれるだろう。

2013 年通期決算を発表。

市場予想を若干下回るも安定した成長性を確認。

また 1 株当たり 1 株の無償増資を実施する。

売上げ 29 億 1100 万人民元（前年比 19.3%増）

純利益 3 億 9000 万人民元（同 18.1%増）

EPS 0.65 元 [約 0.82HKD]（前年 0.56 人民元）

期末配当 0.25 人民元（同 1 株 0.25 人民元）

中医薬（漢方薬）は中国人高齢化の流れの中で特に期待できる分野、なんだかんだ言っても中国人は中医薬（漢方薬）への思い入れが強い。

9 四環医薬（0460）

心臓及び脳血管治療薬では国内シェア 10%。

内服血糖降下剤や癌治療薬も開発中。

【最新ニュース】

NEW！：5/9 中国：一部医薬品の価格上限撤廃、生産意欲高めて供給確保

5/1 中国：後発薬 75 種に同等性評価、安全性・有効性を確保へ

4/22 UOB が「買い」、目標株価 11.2 香港ドル維持

4/22 四環医薬、医療サービス推進の国策が追い風に

4/11 四環医薬の車主席が 820 万株買い増し、持株比率 56.88→57.03%に

4/10 中国：公立病院改革、薬価上乗せ廃止・給与待遇改善がカギ

4/10 中国：民間病院の医療サービス価格を自由化、社会資本導入を奨励

【チャート】 <http://goo.gl/jLjIAH>

【投資判断】 急騰した部分が売られる。

株価の調整は役員の本株売却をきっかけとしたが、あくまでも騰がり過ぎによるテクニカル調整。

今年は医保目録[国家基本医療保険・工傷保険・生育保険薬品目録]の改定年度に当たる為、株価が停滞している今が買い増しチャンス。

同社取締役 2 名がモルガンスタンレーを通じ、1 億 2000 万株を売り出した。

会社の役員が大量の持ち株を売り出し現金化することを市場は嫌がるが中国では

よくあること。特に問題はない。

決算は市場予想を上回る。

2012年と比べ減配だが、その分1対1の株式配当（10割無償）を実施する。
また、現金を温存し他社を買収する計画。

<2013年通期業績>

売上げ 47億3300万人民元（昨年比+55.6%）

純利益 13億300万人民元（同+44.1%）

粗利率 78.2%（同75.2%）

EPS 0.317HKD

期末配当 0.264HKD

プラス1株に1株の株配

10 威勝集団（3393）

各種計測機器（メーター）の製造・販売。

主力製品は電気・水道・ガスメーター。

スマートメーターに注目。

【最新ニュース】

4/25 目標株価を7.60香港ドルに設定＝勝利証券

4/14 第一上海が新規カバレッジで「買い」、目標株価6.47香港ドル

4/4 マッコーリーが「アウトパフォーマンス」に格上げ、
目標株価を5.95香港ドルに上方修正

4/3 AMキャピタルが「買い」継続、目標株価6.00香港ドルに引き上げ

【チャート】 <http://goo.gl/mvyw8>

【投資判断】 順調

「国有企業改革の一環として、送電網を民間資本に開放する」というニュースに反応、電気メーター需要の急増を予想して足元の株価が上昇している。

2013年通期業績を発表。

売上げはほぼ横這いだったが、経営体制の強化により粗利が約 5%アップ純利益は 24%のアップと健闘した。

EPS は 0.43 人民元 (0.54HKD) となり、現株価の割安感が強調される形となった。特筆すべきは省エネ関連の売上げが昨年比で 52%も伸びていること。

国家电网公司 (ステイツ・グリッド) は 26 日、全国送電網などの整備費用として 2014 年通年に 3800 億人民元 (約 6 兆 3500 億円) 超の予算を組んだと発表した。その発表を受け恩恵を受ける可能性がある同社株も買い進まれている。

地味だが着実に利益成長を重ねてくれると期待。

全人代での都市化政策にも期待。

～ 中略 ～

12 ネットドラゴン (0777)

ネットゲーム開発、オンラインゲーム用アプリの開発。主力事業だった 91 無線を百度に売却。今後の事業展開に注目が集まる。

【最新ニュース】

4/22 フィリップ証券が「中立」でカバレッジ開始、目標株価 4.64 香港ドル

3/28 網龍網絡：オンラインゲーム中堅の株価が弱含む (メルマガ「招財」)

【チャート】 <http://goo.gl/52XMM>

【投資判断】 苦戦も材料待ち

新規事業に関してのポジティブなニュースが出ないことに加え、世界的なネット関連銘柄売りの流れにも乗って株価は下落。

とにかく教育に熱心な中国人、そして広大な国土をもつ中国という特徴から見て、中国のネット教育分野は非常に将来性を感じさせる。

ネットゲーム事業が飽和期を迎える前に、新事業を採算に乗せていきたいところ。

4 月 24 日、劉徳建会長が同社株を 128 万 4500 株追加取得した。

日本円にして 3 億円近い金額なので、現在進展中の新事業にそれなりの勝算があるということなのだろう。

「虎の子」だった 91 無線売却後の継続事業が冴えないこともあり、株価は低迷を続ける。

新しい展開がまだ見えない。

台湾・鴻海精密工業などと設立した合弁企業における「オンライン教育関連事業」はまだ未知数の上、利益が出るまでにかかなりの時間を要するだろう。

それまでの『繋ぎ』として、収益性の良い既存企業の買収などに期待がかかる。

もし収益の繋ぎに失敗した場合、もう一段二段の下げは覚悟しておくこと。

2013 年通期決算を発表

昨年の決算は主力子会社の売却があったので殆ど意味がない。

売上げ 8 億 8500 万人民元（前年比 7.1%増）

純利益 61 億 4100 万人民元（同 15574.8%増）

EPS 12.134 人民元（0.0771 元）

期末配当 0.2HKD（0.2HD）

特に新しい材料がないので株価は動かないが、とにかくこの銘柄は新しい展開に期待しつつじっと耐える銘柄である。

ただ、株価を刺激する材料がないので新規買いは安値をコツコツと・・・

新しいネットドラゴンに生まれ変わる日に期待して耐える日々が続く。

13 安東油田服務集団（3337）

油田・ガス田の開発サービス（坑井の掘削や仕上げ）や関連機材の提供。をワンストップで手掛ける。パイプ類の提供・保守が中核事業。中国石油天然気集団（CNP C）との結びつきが強い。シェールガス開発事業では 2010 年に米大手シェルンベルジェと戦略的資本提携を結ぶ。

【最新ニュース】

NEW! : 5/4 中国政府がシェールガス開発に本腰、政策支援策を策定

4/25 中国：シェールガス開発、探査・開発コスト高が民間参入の壁に

4/10 スタンダード・チャータードが「インライン」継続、

目標株価も 5.70 香港ドルに維持

【チャート】 <http://goo.gl/Z3go7>

【投資判断】 順調

2014年1Qの新規受注額が11億9900万人民元となったことを発表。
また、3月末時点の受注残高は19億3200万人民元。
引き続き好調な受注状況である。

2013年通期決算を発表

市場予想とほぼ合致し、安定した成長性を確認。

売上高： 25億3400万人民元（前年比26.4%増）
純利益： 3億8300万人民元（同26.4%増）
EPS： 0.178人民元【約0.224HKD】（前年は0.14人民元）
期末配当： 0.0547人民元（同0.0456人民元）

中国のシェールガスについては鉅区入札が捗らず（入札しても利益が得られる可能性が低いから）遅々その開発が進まない。
しかし、それを別としても同社の油田ガス田開発サービスの受注数は昨年後半も好調である。

14 慧聪网（8292）

BtoB（企業間取引）ではアリババに次ぐ国内二位。「hc360.com」を運営。昨年、GMからメインボードへの昇格を香港証券取引所に申請した。

【最新ニュース】

NEW! : 5/8 慧聪网、B2B市場の成長が追い風に
4/23 慧聪網の業績が好調、第1四半期は利益倍増
3/28 B2B市場拡大で慧聪网に商機
3/21 慧聪网、年内のメインボード指定替えを目指す

【チャート】 <http://goo.gl/1pb0xb>

【投資判断】 順調

個別には業績好調も、世界的なネット関連企業売りの流れの中で株価が乱高下。

1Q 業績が 2 倍以上の増益になると発表。

株価が急騰した。

15HKD 辺りでの買いを推奨し続けてきたが一時的な株価調整が絶好の買い場となった。

2013 年通期決算を発表

市場予想とほぼ合致した高い成長力を確認。

売上高： 8 億 3800 万人民币元（前年比 52.7%増）

純利益： 1 億 5300 万人民币元（同 129.8%増）

EPS： 0.2634 人民币元 [約 0.33HKD]（前年 0.1204 人民币元）

期末配当： なし（同なし）

15 博耳電力（1685）

配電システムメーカー。総合的な配電システム、ソリューションを提供する。送電網「民間開放」の動きでメリット多大。

【最新ニュース】

3/27 マッコーリーが目標株価を上方修正、12.85 香港ドルに

3/26 博耳電力の 13 年通期は 17%増益、利益額 3.45 億元に

【チャート】 <http://goo.gl/PDbgG>

【投資判断】 順調

急騰している銘柄だけに相場が下げれば利益確定の売りが出る。

下げた所だけを買っていきたい。

紹介後 9HKD まで調整も、送電網「民間開放」のニュースですぐに株価を戻す。

インフラ整備を中心とする各種プロジェクト事業 80 件を官民連携（PPP）方式で推進する方針が承認され、この業界の有望さが再確認された。

[高配当の大型国有企業]

※ 配当メインの投資対象として

	予想配当率
1 チャイナモバイル (0941)	およそ 4.4%
2 中国海洋石油 (0883)	およそ 4.4%
3 中国工商銀行 (1398)	およそ 7.1%

☆☆【ADR 中長期ポートフォリオ】☆☆

本コーナーでは、米国市場に上場する中国企業株（ADR）のうち、中長期で高い成長が期待できる銘柄を複数ピックアップしてみました。現在 4 銘柄ですが、今後、徐々に増やしていく予定です。特に、現在話題になっているアリババは、上場に関する詳細内容が固まり次第、投資対象として検討していきます。なお、日本の証券会社では通例、ADR が米国株として扱われます。

1. 携程網：C トリップ (CTRP)

自社サイトやコールセンターを通じ、ホテルや航空券の予約を仲介する。旅行需要の拡大、モバイル・インターネット普及率の上昇が追い風。

会社概要・業績推移の詳細はこちら

http://www.ashuir.com/merumagashozai/katekin/20140407_CTRP_14spr.pdf

【最新ニュース】

NEW! : 5/8 ドイツ銀が「買い」、目標株価を 54.0→58.0 ドルに引き上げ

NEW! : 5/8 GS が「中立」、目標株価を 45.0→46.0 ドルに引き上げ

NEW! : 5/8 CS が「アウトパフォーム」、目標株価は 58.0 ドル

NEW! : 5/8 Q1 の売上高は 2.545 億米ドル（予想は 2.45 億米ドル）と好調

EPS は 0.12 ドルと予想通り

Q2 の会社計画（30-35%増）は市場予想（31%増）よりも高い水準

NEW! : 5/6 「五一」連休時の中国国内景勝地の入場者数が各地で歴史的な高水準に

4/29 China International Capital が「買い」、

目標株価 46.0→62.50 ドルに引き上げ

4/28 遊園地やアトラクションの入場券等を手配する

同城網 (L.Y.com を運営) に 2 億ドルを出資して第 2 位株主に

4/23 百度 (BIDU) との提携シナリオを高く評価＝バークレイズ

【チャート】

http://www.ashuir.com/merumagashozai/katekin/140509_CTRP.jpg

【投資判断】

14 年は 22%増益、15 年は 37%増益が見込まれるが、業績上振れ期待が次第に台頭するとみる。2013 年の中国旅行業界は、共産党の綱紀粛清や天候不順などの影響で全般に不振だったが、今年はその反動増が見込まれる（「五一」連休中の業界動向も好調）。なお、同社の第 1 四半期決算は上振れたが、その日の株価はマーケットの下落に連れて「行って来い」となった。内容的には懸念する必要がない。50 日、100 日、200 日移動平均線が交差するタイミングに近づいているため、ゴールデン・クロスを期待して押し目狙い、またはゴールデン・クロスを待って積極攻勢をかけたい。

2. 新東方科技：ニュー・オリエンタル (EDU)

英語学校をチェーン展開する。児童クラスから成人向けの試験・留学準備クラス (TOEIC、TOEFL など) まで、幅広い層を対象とする英語学校を全国の主要都市で展開。学校や学習センターを合計 711 カ所運営する (13 年 11 月末)。07 年からは大学受験ビジネス (大学予備校 U-can) にも進出し、新たな成長エンジンになりつつある。

会社概要・業績推移の詳細はこちら

http://www.ashuir.com/merumagashozai/katekin/20140407_EDU_14spr.pdf

【最新ニュース】

NEW! : 5/5 ドイツ銀行が「買い」から「ホールド」、

目標株価を 37→27 ドルに引き下げ

NEW! : 4/29 マッコーリーが「アウトパフォーム」継続、

目標株価は 40→36.5 ドルに引き上げ

4/28 GS が「中立」を維持、目標株価を 27.5→26.0 ドルに引き下げ

3/31 新疆、陝西、河南など中西部の小・中学校 1000 校とオンライン教育で提携、
今後は毎年 2000 校程度を増やしていく計画

【チャート】

http://www.ashuir.com/merumagashozai/katekin/140509_EDU.jpg

【投資判断】

4 月 28 日に発表された第 3 四半期（13 年 12 月～14 年 2 月）の売上高は 16.4%増、営業
利

益は 30.5%増、純利益は 50.2%増と大幅増収増益となった。しかし、売上高が自社
予想の 19～24%増を大きく下回ったため、売りが殺到。その日の株価は 8.6%安と急
落した。第 4 四半期の売上見通しも 16～20%増と保守的。長期見通しは明るい、目
先は 200 日移動平均線（27 ドル）までのリバウンドが精いっぱいとなりそうで、下振
れリスクも残るため、いったん見送りのスタンスをとりたい。5 月 5 日にドイツ銀行
が一転、弱気に転じたことで株価が下げ止まらず、目先は手が付けられない状況に
なっている。

3. 無錫・薬明康德：ウーシー・ファーマ（WX）

製薬やバイオテック、医療機器の開発研究を請け負う中国最大手の医薬 R&D 企業。上
海に本社を置き、無錫と米国に大規模な研究開発センターを保有する（薬品臨床試
験や開発請負、試薬テストなどを行う）。2000 年 12 月に 4 人の創設者と一つの実験室
から生まれた同社は、現在 7000 人以上の従業員を保有するまでに成長した。

業績推移はこちら

http://www.ashuir.com/merumagashozai/katekin/res140509_WX.jpg

Sterile biologics product made in china use under IND

TaiMed が開発した HIV と AIDS の治療薬の Ibalizumab TMB355

【最新ニュース】

NEW! : 5/5 TaiMed が開発した HIV と AIDS の治療薬「Ibalizumab TMB355」につい
て、

無錫薬業が量産することを FDA（アメリカ食品医薬品局）が承認

4/20 ドイツ銀行が「買い」、目標株価 40.0 ドルを据え置き

4/10 ジェフリーズが「買い」、目標株価 43.5 ドルを据え置き
4/8 国際製薬技術協会 (ISPE) の「製薬設備部門賞」を受賞
4/1 ゴールドマン・サックスが「中立」継続、
目標株価 34.0→37.2 ドルに引き上げ

【チャート】

http://www.ashuir.com/merumagashozai/katekin/140509_WX.jpg

【投資判断】

同社の株価は 2011 年の下半期から、ほぼ右肩上がりのトレンドが続く。自社ガイダンス（業績計画）を着実に達成してきたことで投資家の信頼感が厚い。14 年は 14-16%増益を予想（自社）。13 年実績 PER で約 24 倍、14 年予想で約 18 倍、15 年予想で約 16 倍となっており、医療セクターや米 ADR という点を踏まえ特に割高感がない。先進国が医療支出の抑制に努める中、同社のようなアウトソーシング・ビジネスの将来性は大きい。35 ドル近辺での攻防となっているが、中国 ADR 全体が軟調地合いになったことによる影響が大きい。個別の悪材料がないため、押し目は丁寧に拾っていきたい。5 月 14 日に第 1 四半期業績の発表を予定。

4. 奇虎 360 (QIHU) : チーフー360

中国のネットユーザーに、PC 向けとモバイル向けの高性能アンチ・ウィルス・ソフトを無料で提供、自社のウェブ・サイトや検索エンジンに誘導することで急発展を遂げた。13 年 6 月中間期の時点で、PC 向けアンチ・ウィルス・ソフトの国内シェアは 90%、モバイル向けは 70%に達する。2011 年 3 月に 14.5 ドルで米 ADR 市場に公開した勢いに乗って、検索シェアやオンラインゲームのシェアを急拡大。2014 年第 1 四半期の検索シェアは 24.6%に達した。

業績推移はこちら

http://www.ashuir.com/merumagashozai/katekin/res140509_QIHU.jpg

【最新ニュース】

NEW! 5/4 野村が「買い」継続、目標株価は 146→125 ドルに引き下げ
4/24 クレディ・スイスが「アウトパフォーム」、目標株価 151 ドルを据え置き
4/9 JP モルガンが「買い」、目標株価 165 ドル継続

【チャート】

http://www.ashuir.com/merumagashozai/katekin/140509_QIHU.jpg

【ポイント】

同社の魅力は成長ペースが速く、かつ成長余力が大きいことだ。検索シェアは約 25%もあるのに、シェア 70%の百度に比べて検索広告売上高は 3%に満たない（全体で見ると、百度の 13 年・売上高は 319 億人民元、同社は 6 億 7110 万ドルで約 10 分の 1）。つまり、ようやく収益化に取り組み始めた段階にあるとあってよい。同社のブラウザシェアは 30%弱といわれるため、検索シェアの更なる上昇余地も期待できる。大手の百度やテンセント、アリババなどとの競争が激化し、訴訟を含めた小競り合いが多いことが懸念材料。アリババの上場がほぼ決まり、想定 IPO 価格に割安感が強いということで（ネットセクター内で）投資資金が分散されるとの懸念が浮上。200 日移動平均線を大きく割り込んでしまったが、売られ過ぎの感が強い。今後の成長シナリオを考慮すれば、アリババ上場がむしろ手掛かり材料となる局面も期待できよう。

< 亜州 IR 編集部 >

■マーケットカレンダー

<http://www.ashuir.com/merumagashozai/makekare/140509.txt>

（※決算日や権利落ち日、また配当実施日などの情報を掲載いたします）

（注意）当メルマガに記載されている情報はメルマガという媒体の性質上リアルタイムのものではございません。記載された株価やニュースに関しましてはリアルタイムのものを参照されることをお勧めいたします。

※掲載される情報は亜州 IR 株式会社が信頼できるものと判断した情報源をもとに作成したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性に亜州 IR 株式会社はいかなる保証も行なっておりません。

有価証券及び金融商品に対する投資に関する最終決断はご利用者本人で行いますようお願いいたします。金融商品の売買により生じた如何なる損失、費用の責任を負わず、損害賠償に応じません。十分ご注意くださいようお願いいたします。

編集・発行 亜州 IR 株式会社

金融商品取引業者登録 投資助言・代理業

登録番号 関東財務局長（金商）第 2610 号

一般社団法人日本投資顧問業協会 加入 会員番号 012-02574

〒103-0024 東京都中央区小舟町 4-6 AS ONE 三越前 6F

電話 03-5643-1667 FAX 03-5643-0692

ウェブサイト WWW.ASHUIR.COM

★著作権所有 無断転送・転載を禁じます。

本紙掲載記事は投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

購読・配信・課金などのお問合せやトラブルは

メルマガ配信会社フーミー info@foomii.com までご連絡ください

登録／配信中止はこちら：<https://foomii.com/mypage/>
